

取扱説明書

AQUA

冷凍冷蔵庫

品番 AQR-36G (右開き) / AQR-36GL (左開き)
AQR-27G



AQR-36G

AQR-27G

もくじ

ご使用の 前に	安全上のご注意……………	1 ~ 2
	据え付けから使用開始まで……………	3 ~ 4
使いかた	食品の貯蔵場所と温度調節……………	5 ~ 6
	冷蔵室の使いかた……………	6 ~ 7
	冷凍室 (フリーザー) の使いかた ……	7 ~ 8
	野菜室の使いかた……………	8
お手入れ	お手入れと付属品のはずしかた……	9 ~ 10
お困りの ときは	こんなときには……………	11
	故障かな?と思ったら……………	12
	仕様……………	13
	保証とアフターサービス……………	14
相談窓口	お客さまご相談窓口……………	裏表紙

上手に使って上手に節電

- このたびは、冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、ありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保証書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、AQR-36G をもとに説明していますが、他の機種も使用方法は同じです。

アクア 株式会社
<http://aqua-has.com/>



ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



安全上のご注意・・・必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危険と損害の程度を区分して説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。

 警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です
 注意	軽傷を負うことや物的損害の発生が想定される内容です

  	してはいけない内容です
 	実行しなければならない内容です

警告

据え付けのとき



- 水のかかる所には冷蔵庫を設置しない
(絶縁が悪くなり、漏電の原因)



- 冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける
→ 3 ページ参照
(冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れ)
- 万一の地震に備えて、冷蔵庫を固定する
→ 3 ページ参照
(冷蔵庫が倒れるとけがの原因)



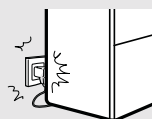
アースをする

- 湿気の多い所・水気のある所に冷蔵庫を据え付ける時にはアース・漏電遮断器を取り付ける
(故障や漏電の時に感電する恐れ)
アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。

電源プラグ・電源コード



- 電源プラグを冷蔵庫で押し付けけない
(変形や傷が付くと、感電・発熱し発火の原因)



- 電源コードを傷付けない
(踏み付けたり、加工したり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりすると、電源コードが破損して、火災や感電の原因)
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
(感電・ショート・発火の原因)



- 電源は交流 100V の専用コンセントを使う
(100V 以外では火災・感電の原因)
- コンセントは 15A 以上のものを単独で使う
(他の器具と併用したタコ足配線は発熱し発火の原因)
- 電源プラグは、ほこりを取り、刃の根元まで確実に差し込む
(発熱し発火の原因)

電源プラグ・電源コード



- 電源プラグはコードが下向きになるよう差し込む
(逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因)
- 電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行う
(電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが破損し感電やショートして発火する恐れ)



ご使用のとき



- 冷蔵庫本体の冷却回路(配管)を傷付けない
(可燃性の冷媒を使用しているので、発火・爆発の恐れ)
- 可燃性スプレーは近くで使わない
(引火や、やけどの危険)
- 引火しやすいものは入れない
(エーテル、ベンジン、LP ガス、アルコール、接着剤などは入れない。爆発する危険)
- 庫内では電気製品を使用しない
(冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花で発火・爆発の恐れ)
- 扉やハンドルにぶら下らない、乗らない
(冷蔵庫が倒れたり、手をはさんで、けがの原因)
- 上にものを置かない
AQR-36G/AQR-36GL のみ
(扉の開閉などで落ちると、けがの原因)
- 上に水を入れた容器を置かない
(こぼれた水で絶縁が悪くなり漏電・火災の恐れ)
- 冷蔵庫本体や庫内に水をかけない
(ショートや感電の恐れ)
- 医薬品や学術試料の保存はしない
家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。



警告

お手入れのとき



- 電源プラグをぬれた手で抜き差ししない
(感電や、けがの原因)



- お手入れのときは、電源プラグを抜く
(感電や、けがの原因)

修理・廃棄のとき



- リサイクルの時など、保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は扉パッキングをはずす
- 廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
(放置し、冷媒が漏れると、引火・爆発の恐れ)



分解禁止

- 分解したり、修理・改造は絶対にしない
(火災、感電、けがの原因)

もしものとき



- 異常や故障のときは、電源プラグを抜く
(火災・感電・けが・やけどの原因)
＜異常・故障の例＞
 - 電源コード、プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深い傷や変形がある。
 - 焦げくさいにおいがする。
 - 冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
 - ビリビリと電気を感じる。
 お買い上げの販売店へご連絡ください
- 冷却回路（配管）を傷付けたときや可燃性ガスが漏れているのに気付いたときは、冷蔵庫やコンセントにふれず火気の使用を避け窓を開けて換気する
(電源プラグの抜き差しなどの火花で引火爆発し、火災ややけどの危険)
- ガス漏れに気付いたら、ガスの元栓を閉め、窓を開けて換気する
(冷蔵庫の扉を開けたり、電源プラグを抜くと、電気接点の火花等で引火爆発し、火災や、やけどの危険)

注意

長期間使用しないとき



- 必ず電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化などにより、感電や漏電・火災の原因)

注意

ご使用のとき



- 食品を棚より前に出さない
- 背の高い倒れやすい食品は入れない
- 扉ポケットの底まで入らない食品は入れない
(扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがの原因)

- 冷凍室にビン類や缶類を入れない
(中身が凍って割れ、けがの原因)

- におったり、変色した食品は食べない
(腐敗により、病気の原因)



- ガラストレイの取り付け、取りはずしは確実にする
(ガラストレイが落下すると割れたり、ぶつかって、けがの原因)



接触禁止

- 冷凍室内の食品や容器（特に金属製）にぬれた手でさわらない
(凍傷になる恐れ)

- 冷蔵庫の底面には手や足を入れない
(鉄板により、けがの原因)

- 後ろ側下部の機械部分（圧縮機など）に手をふれない
(運転中は熱くなるので、やけどの恐れ。鉄板により、けがの原因)

扉を開け閉めするときは



- 扉を強く開け閉めしない
(食品の落下により、けがをする恐れ)
- 最下段の引き出し扉に足を近づけすぎない
(指をはさむなど、けがをする恐れ)
- 他の人が冷蔵庫に触れているときは、扉を開け閉めしない



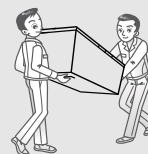
- 引き出し式の扉を閉めるときは、とっ手を持って閉める
(扉の上側を持って閉めると、指をはさみけがの原因)

設置・移動・運搬のとき



- 床が丈夫で水平なところに調整脚でしっかり固定する
(冷蔵庫が移動したり、倒れたりしてけがの恐れ)

- 底面のとっ手と背面上部
とっ手を確実に持って運搬する
(手がすべって、けがの原因)



- 移動するときは保護用の板などを敷く
(床材を傷付ける恐れ)



- 傷付きやすい床の上では、移動車輪は使用しない
(床材を傷付ける恐れ)

据え付けから使用開始まで

1. 据え付ける

次のような場所に据え付ける

■熱気・直射日光の当たらないところ

冷却力低下を防ぎ、電気のムダをなくすため。
コンロの横は避ける。

■湿気の少なく、風通しの良いところ

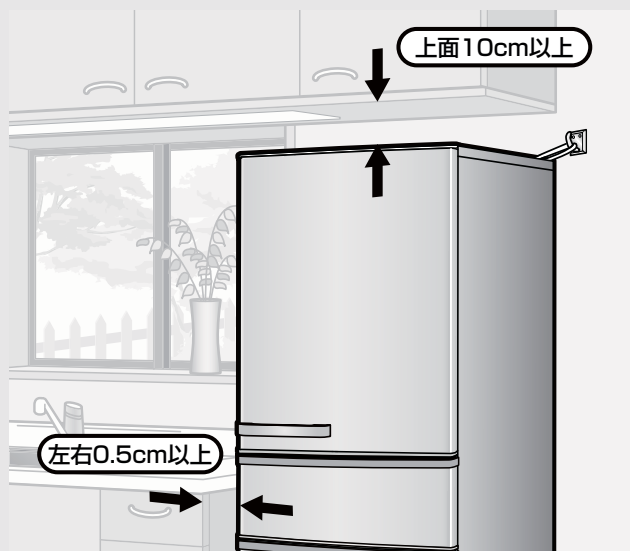
錆の発生や漏電を防ぎます。

■放熱スペースを確保できる場所

※AQR-27Gのテーブルの上にオープンや電子レンジを置く場合は、その設置条件に従ってください。

※AQR-36G/AQR-36GLの上には、物を置かないでください。

※冷蔵庫の上面は放熱スペース確保のため、10cm以上空間をあけてください。



※壁際で、冷蔵室扉が開かない場合は、壁から2cm以上あけてください。

※背面は壁につけられます。冷蔵庫が壁にふれて振動音がしたり、壁材が黒く変色する（圧縮機周辺の空気の対流が原因です）場合は、冷蔵庫を壁から離してください。

※消費電力量測定時の寸法とは異なります。

■丈夫で水平な床

振動・騒音や故障の原因になります。

※じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などは、冷蔵庫の熱により変色することがあります。底に丈夫な板を敷いてください。



警告

水のかかる所には冷蔵庫を設置しない。絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

お願い

■腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯など錆びやすい場所に設置すると、配管パイプが腐食して冷えなくなることがあります。このような場所に設置する場合は、防せい処理をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

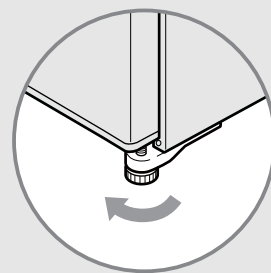
■冷蔵庫の据え付け状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れることがあります。このようなときは、冷蔵庫からできるだけ離してください。また、冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

2. 固定する

1 水平に固定する

両側の調節脚を回し必ず床に着け、水平に設置する。調節脚（左右）は矢印の方向に回すと前上がりになります。

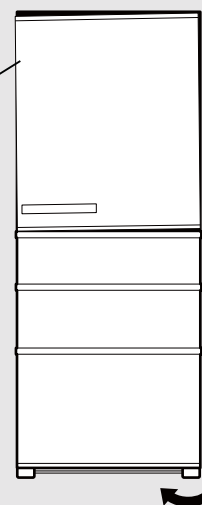
※調節脚が床から浮いていると運転音が大きくなったり、振動が大きくなる原因となります。



2 扉平行度を調節する

扉の左が下がっている場合

右の調節脚を矢印方向へ回すと微調整できます。

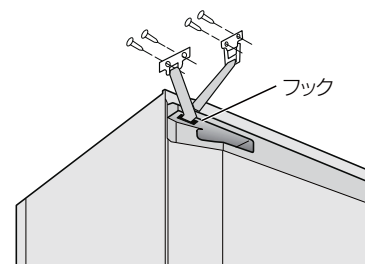


※右記のイラストはAQR-36Gです。



警告

転倒防止用のベルトをかける背面のフックにベルトを通して、壁や柱に固定する



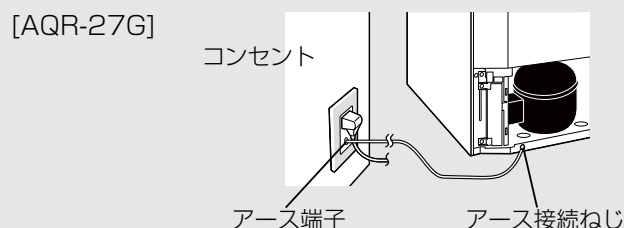
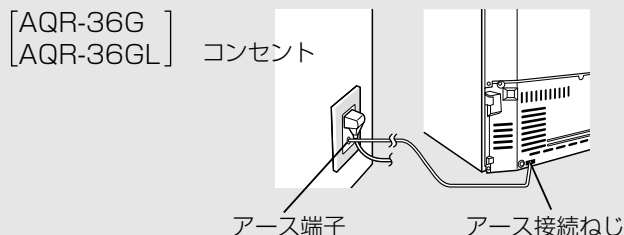
地震などで冷蔵庫が倒れると、けがの原因になります。転倒防止用ベルト（別売品）は、お買い上げの販売店で型番2FB 0 1327 001 00 をお求めください。

3. アースをする

万一の感電事故防止のため、アース（接地）をおすすめします。

1 アース線（別売）を、背面下部にあるアース接続ねじに接続する

2 アース端子をコンセントに差し込む



※コンセントにアース端子が付いていないときは、お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（D種接地工事）をしてください。（アース工事は有料です）

アース線を接続してはいけないところ

- 水道管
- ガス管（爆発の危険があります）
- 電話のアース線や避雷針（落雷のとき大きな電流が流れ、危険です）



警告

土間や洗い場、地下室など、湿気・水気の多い場所に据え付ける時には、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店にご相談ください。（アース工事・漏電遮断器の設置は有料です）

4. 使用開始

1 付属品を確認する（13ページ参照）

2 庫内を清掃する

柔らかい布で庫内を清掃する。
（使い始めにプラスチックからにおいがする場合があります。念のため、においがこもらない様に扉を開けて周囲の風通しを良くしてください。においはしだいに消えます）

3 コンセントに接続する

電源は100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
根元まで確実に差し込む。



4 十分冷えてから食品を入れる

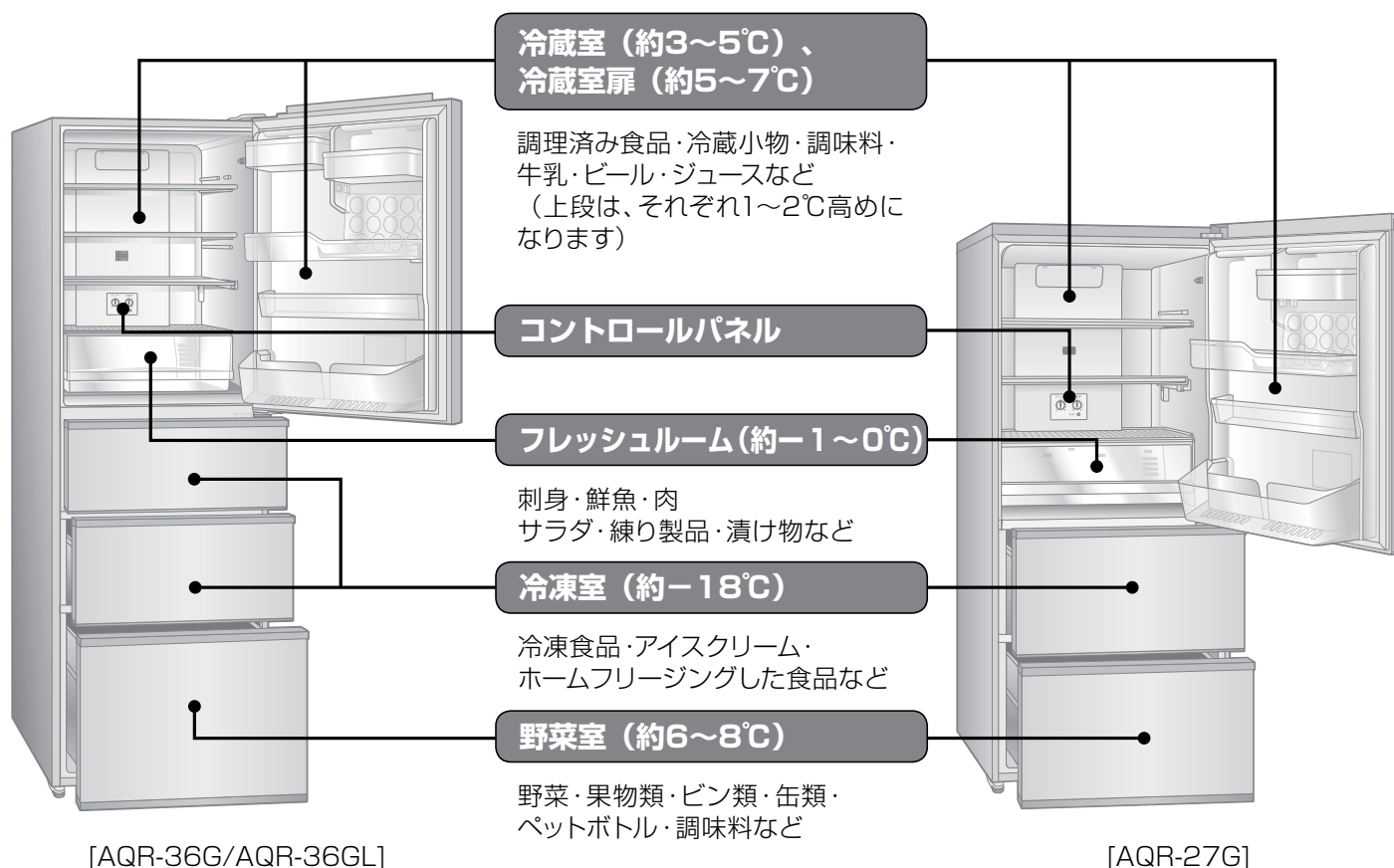
夏場など周囲温度の高いときは、冷えるまで24時間以上かかることもあります。冷えるまでは扉の開閉を控えてください。

据え付けから使用開始まで

ノンフロン冷蔵庫について

- この冷蔵庫にはノンフロン冷媒とノンフロン発泡断熱材を使用しています。
ノンフロン冷媒（イソブタン）とノンフロン発泡断熱材（シクロペンタン）は、オゾン層を破壊せず地球温暖化に対する影響が極めて小さい、地球環境に配慮した物質です。
- ノンフロン冷媒は可燃性です。「冷却回路」に密封されており、通常のご使用において漏れ出すことはありませんが、万一、冷媒回路を誤って傷付けてしまった場合、火気（電気製品）などの使用を避け、窓を開けて換気してください。その後、お買い上げの販売店へご連絡ください。

食品の貯蔵場所と温度調節



温度を変えたいときは・・・下の表を参考に、つまみで調節する。

冷蔵室、冷凍室 (フリーザー) の温度は、冷蔵室奥にあるコントロールパネルの温度調節つまみで調節する。

フリーザー	強	「中」より2~3℃低くなります。
	中	約-18℃
	弱	「中」より2~3℃高くなります。
冷蔵室	強	「中」より2~3℃低くなります。
	中	約3~5℃
	弱	「中」より2~3℃高くなります。

「eco」ボタンの使いかたは、6ページ参照

- 普段はコントロールパネルの温度調節つまみを「中」の位置でお使いください。
- 冷蔵室の温度調節を「強」にしても、冷蔵室の冷えが弱いことがあります。
→ このときは、冷凍室の温度調節を、「強」側にします。
- 冷凍室の温度調節を「弱」にしておくと、他の室の温度が高めになることがあります。
→ このときは、冷蔵室の温度調節を、「強」側にします。
- フレッシュルームの温度は、周囲温度や冷蔵室温度調節の位置によって変わることがあります。
- 表中の温度は、庫内のほぼ中央の値です。扉の開閉や食品の入れ具合によって変わります。

測定条件 ……周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉じ、庫内温度が安定したときの値です。

ドアアラームについて

冷蔵室の扉は開いたままですと1分後からピピッ…ピピッ…と鳴り、3分後からピピピッと鳴り続け、開いていることをお知らせします。
扉を閉めると止まります。扉を閉めても止まらないときは11ページの「ドアアラームを止めたいとき」を参照のうえ、裏表紙の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

節約ecoモード

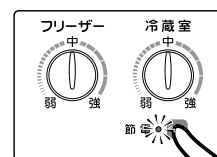
庫内の冷却を弱くして、消費電力量を少なくします。

- 1 コントロールパネルの「eco」ボタンを押す
ボタン横のランプが点灯し、節約ecoモードを開始します。

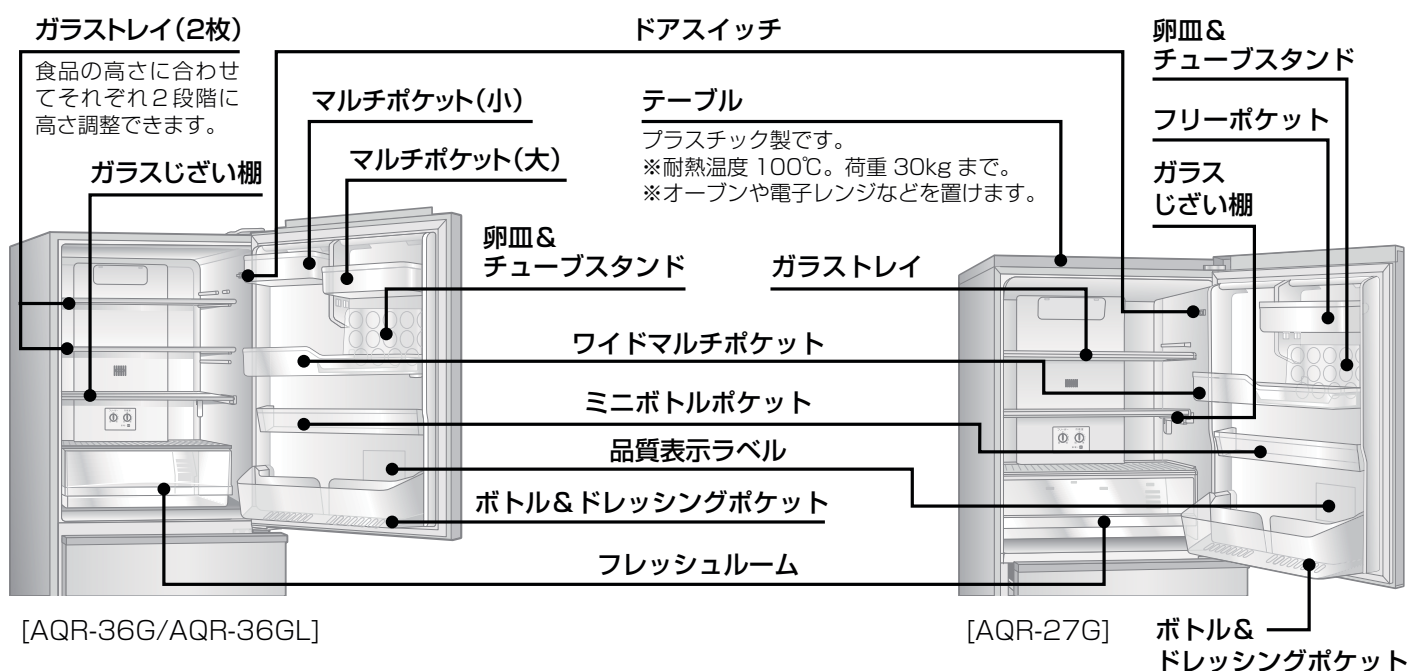
＜節約ecoモード解除のしかた＞

節約ecoモードを解除したいときは、もう1度「eco」ボタンを押してください。
ボタン横のランプが消え、節約ecoモードを解除します。

- 節約ecoモード運転中は、庫内の温度が高くなる場合があります。アイスクリームが軟らかくなるなど冷えが弱いと感じたら、節約ecoモードを解除してください。
- 冷凍室の温度調節を「中」より「弱」側に設定した場合は、節約ecoモードの運転は行いません。節約ecoモードを設定した場合でも、設置環境及び使用状況によって効果が異なります。



冷蔵室の使いかた



※冷気の通路に除菌・脱臭触媒フィルター*1を設置。酵素の作用で気になるにおいの元を分解し、Agイオンの力で菌の増殖を抑えて庫内を清潔に保ちます。

*1 試験依頼先：一般財団法人 ポーケン品質評価機構 試験の方法：フィルム密着法 抗菌の方法：フィルターへの抗菌成分の担持
処理部品名：冷却カバー内のフィルター 試験結果：99.9% (試験番号 20215074610-1)

食品の貯蔵場所と温度調節／冷蔵室の使いかた

⚠注意

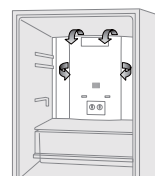
食品をつめすぎたり、棚より前に出さない。背の高い倒れやすい食品は入れない。
扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがの原因になります。

お願い

- 冷気吹出口から右図のように冷気が流れ出ます。吹出口付近では食品が凍結することがありますので、吹出口から離して貯蔵してください。
- 周囲温度が5℃以下になったとき、冷蔵室の食品が凍結することがあります。
→このときは、冷蔵室の温度調節を「弱」側にすると凍りにくくなります。
(5ページ参照)
- 扉ポケットの上段（マルチポケットやフリーポケットなど）に、背の高い食品を入れないでください。扉の開閉で倒れることがあります。
- 庫内のおおいを吸着・分解する脱臭機能がフレッシュルーム奥に付いていますが、におい移りや乾燥を防ぐため、においの強い食品、水気の多い食品はラップをして貯蔵してください。
- 水気の多い食品をフレッシュルームの奥（冷気吹出口付近）に貯蔵しないでください。凍結することがあります。
- 水分の多い食品はラップをしてください。ラップをしないと、フレッシュルームの天井などに露が付くことがあります。
- フレッシュルームが冷えすぎるときは、冷蔵室の温度調節を「弱」側に調節してください。(5ページ参照)



[AQR-36G]
[AQR-36GL]



[AQR-27G]
冷蔵室冷気吹出口図

冷蔵室の使いかた

ガラスじざい棚／フレッシュルームケース

■広い棚で使う



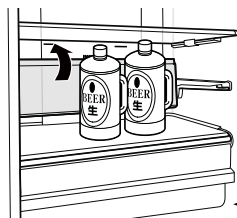
■半分の棚で使う

手前の棚を少し持ち上げながら奥へ押し込むと、手前には背の高い食品、奥には小物が置けます。



■棚全体をたたんで使う

さらに回転させ、後ろに立てると、大きな食品などが置けます。



■フレッシュルームケース

引き出し式です。奥まで確実に押し込んでください。

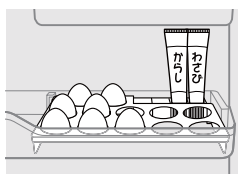
冷凍はしたくないけれど冷蔵室より長く保存したい食材は、凍る直前の温度帯フレッシュルームへ。

解凍の手間もいらず鮮度も長持ちします。

卵皿＆チューブスタンド

■卵皿とチューブスタンドとして使う

通常12個の卵が収納できます。右奥はチューブスタンドとしてご使用できます。

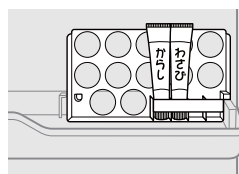


<横に入れるとき>

先に卵皿＆チューブスタンド左側奥をワイドマルチポケットに入れてから右側を入れてください。

■立ててチューブスタンドとして使う

フリーポケットは上の段にセットしてください。



<縦に入れるとき>

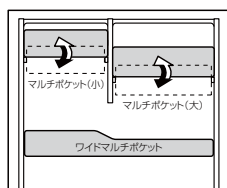
チューブスタンド右側の側面をワイドマルチポケットに差し込んでから、左側奥面にある突起部を差し込むように入れてください。

マルチポケット（大／小）／ワイドマルチポケット

AQR-36G/AQR-36GLのみ

■マルチポケットはすべて上下2段階に調節できます。

■ワイドマルチポケットは卵皿＆チューブスタンドとあわせて使えます。卵皿＆チューブスタンドを立てることにより広く使えます。



ボトル＆ドレッシングポケット

■奥には2Lのペットボトル、手前には牛乳パック、ドレッシング類が入ります。



冷凍室（フリーザー）の使いかた

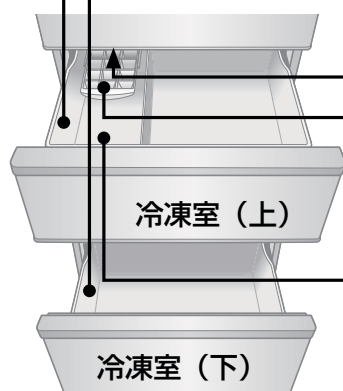
旬のおいしさを、長く楽しみたい。そのような食材は、冷凍室で長期保存を。

冷凍ケース（上）

ホームフリージング用（全体がはずせます）

冷凍ケース（下）

保存用（全体がはずせます）



製氷コーナー

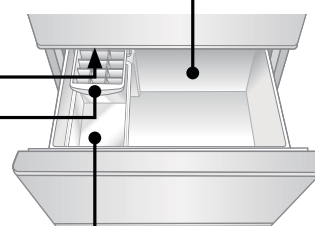
製氷皿（引き出し式）

製氷コーナーの奥に収納されています。

貯氷コーナー

氷は貯氷注意レベル以下で保存してください。（貯氷コーナー側面に表示しています）

冷凍ケース



[AQR-36G/AQR-36GL]
（説明用の絵です。実際には絵のようには引き出せません）

[AQR-27G]

冷凍室（フリーザー）の使いかた

！注意

冷凍室にビン類や缶類を入れない。中身が凍って割れ、けがの原因になります。

冷凍室内の食品や容器（特に金属製）に、ぬれた手でさわらない。
凍傷になる恐れがあります。

お願い

- 水を製氷皿の水位線より多く入れないでください。氷が離れにくくなります。
- 貯氷コーナー、冷凍ケースなどで製氷しないでください。割れることがあります。

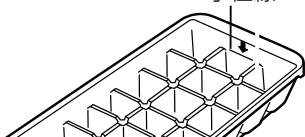
氷のつくりかた

<氷をつくるとき>

1 製氷皿に水を入れる

水位線まで

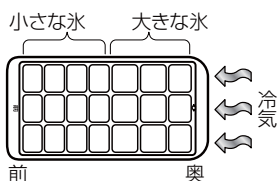
水位線



2 製氷皿を製氷コーナーに入れる

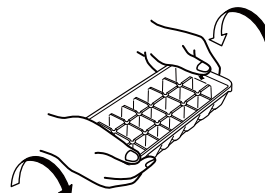
前後をまちがえないように

※氷を均一に凍らせるため奥側は大きく前側は小さな氷ができます。



<氷を取り出すとき>

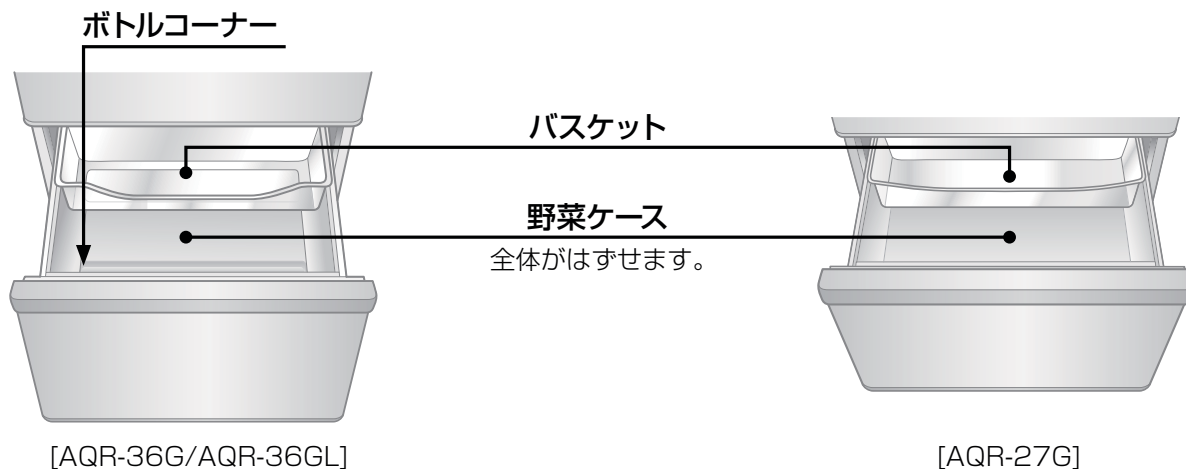
1 製氷皿の両端を持って、軽くひねる



2 貯氷コーナーで保存する

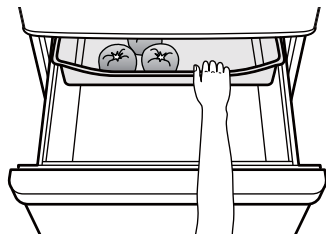
野菜室の使いかた

ビタミンや植物繊維の多い新鮮野菜の貯蔵は野菜室へ。



バスケット

つぶれやすいトマトや小さい果物・野菜の収納に便利です。



野菜ケース

大きめの野菜や果物が入ります。
(AQR-36G/AQR-36GLのボトルコーナーには2Lのペットボトルが入ります。ただし、形状によっては収納できない場合があります)



お願い

- 水洗いした野菜は、水気をよくきってから入れてください。
- 野菜ケースの底に溜まった水は、ふき取ってください。
- 周囲温度が5℃以下になったとき、野菜室の食品が凍結することがあります。
⇒このときは、冷蔵庫の温度調節を「弱」にすると凍りにくくなります。(5ページ参照)

お知らせ

- 野菜や果物は、ラップして貯蔵すると、新鮮さがさらに長持ちします。
また、においの強い食品からのにおい移りを防ぎます。
- 野菜室は湿度を高く保っているため、露が付くことがあります。露が付いたときはふき取ってください。

お手入れと付属品のはずしかた

- 清潔にお使いいただくため、月に1度はお手入れ（清掃）してください。
- 貯蔵食品は取り出してください。

- はずした棚やポケット類は水洗いできます。
- 取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行ってください。

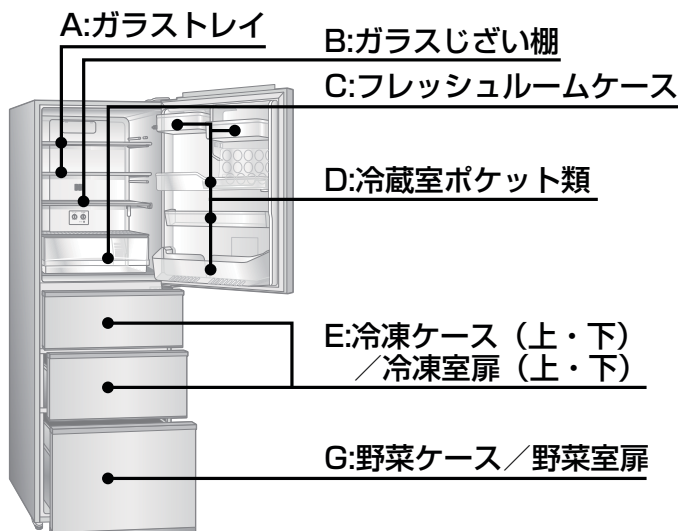
警告

お手入れ（清掃）するときは、電源プラグを抜く。また、ぬれた手でプラグを抜き差ししない。感電やけがの原因になります。

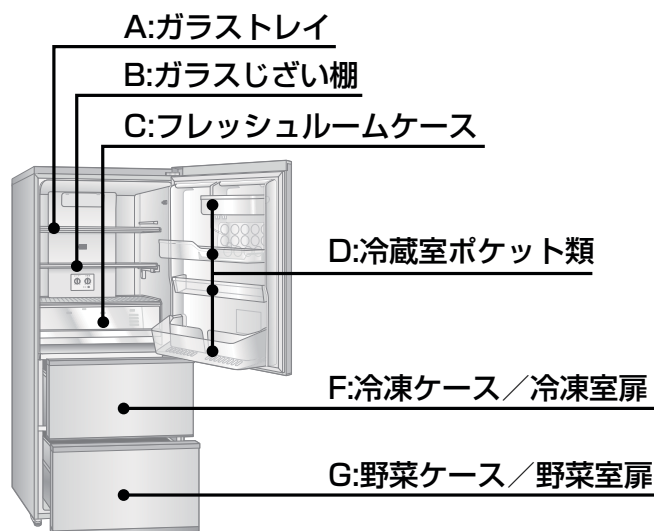
冷蔵庫に直接水をかけない。錆びたり、漏電や故障の原因になります。

注意

冷蔵庫の底面に手を入れない。金属の角などにぶつけ、けがの原因になります。



[AQR-36G/AQR-36GL]



[AQR-27G]

お手入れの方法

- 軽い汚れはからぶきをする。
- 落ちにくい汚れは

- 1 薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、ふき取る。
(原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書に従ってください)
- 2 食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤をふき取る。
- 3 からぶきをし、水気をふき取る。

お願い

■みがき粉（クレンザー）・粉石けん・アルカリ性洗剤・タワシ・ベンジン・シンナー・アルコール・石油・酸・熱湯などは、塗装面や扉パッキングを傷めたり、プラスチックが割れたりしますので、使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、強くこすらないで、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

お手入れのポイント

庫内

水を含ませた布で、上面、側面、下側へと汚れをふき、からぶきする。プラスチック部品に付いた食用油、バターなどの油脂類は、必ずふき取る。付いたままでは、割れることがあります。

コントロールパネル部

柔らかい布でからぶきする。水をかけないでください、故障の原因になります。お手入れ後は、温度設定位置などが動いていないか確認する。

扉パッキング

扉パッキングにジュースや食品の汁が付くと、べと付き、傷みやすくなります。下側のパッキングが、特に汚れやすいので、念入りに清掃を。

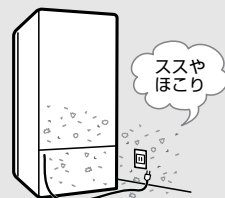
ケース類

汚れをふき取るか、ときどきケース全体を取り出して水洗いをする。(特に、野菜ケースの汚れは、においやカビが発生しやすくなります)

冷蔵庫背面／床／壁（年1回程度）

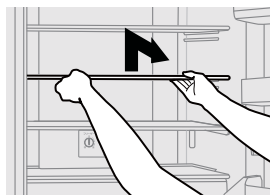
傷付きやすい床の場合は、保護のため板などを敷いて、冷蔵庫を静かに前に引き出す。掃除機などで背面、床、壁の汚れやほこりを掃除する。

※背面、床、壁は空気の対流により、ほこりが溜まったり、黒く汚れやすいところです。



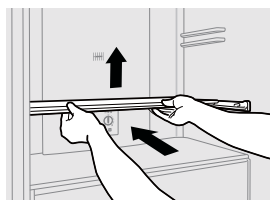
A: ガラストレイ

棚の手前を持ち、後ろを持ち上げながら引き出す。
※重たいので落とさないように注意してください。



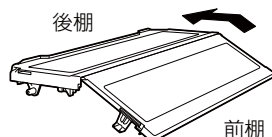
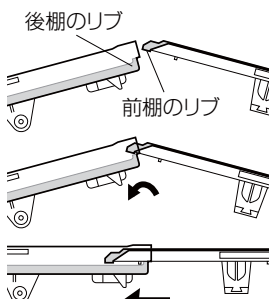
B: ガラスじざい棚

手前の棚を少し持ち上げながら奥へ押し込む。棚を重ねたまま持ち上げてはまず。
※重たいので落とさないように注意してください。

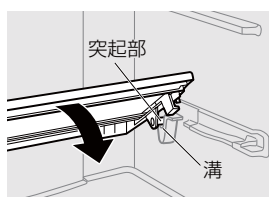


<取り付け>

- 1 前棚左右のリブを後棚リブの内側へ入れ、前棚を奥まで押し込む。



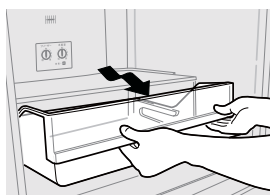
- 2 重ねた状態で、後棚左右の突起部を奥の溝に入れ水平に置く。



- 3 前棚を手前に突き当るまで引き出す。

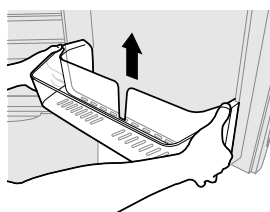
C: フレッシュルームケース

ストップするまで、手前に引き、ケースの手前を持ち上げながら、さらに引き出してはまず。



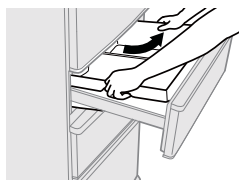
D: 冷蔵室ポケット類

両手で持って、上方に突き上げて、はまず。

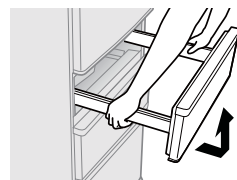


E: 冷凍ケース(上・下)／冷凍室扉(上・下)

- 1 扉をストップするまで手前に引き出す。冷凍ケースの左右を持って斜め上に取り出す。

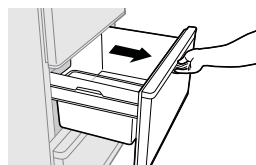


- 2 左右のレールを持って手前を持ち上げながら、扉全体を取り出す。

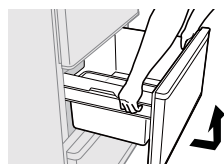


F: 冷凍ケース／冷凍室扉

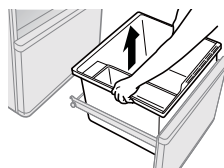
- 1 扉をストップするまで、手前に引き出す。



- 2 左右のレールを持って、手前を持ち上げながら、冷凍ケースごと取り出す。

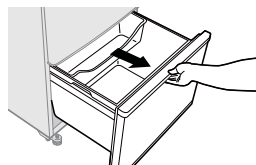


- 3 扉をはずした後、冷凍ケースを持ち上げてはまず。

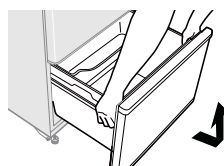


G: 野菜ケース／野菜室扉

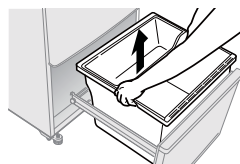
- 1 扉をストップするまで、手前に引き出す。



- 2 左右のレールを持って、手前を持ち上げながら、野菜ケースごと取り出す。



- 3 扉をはずした後、野菜ケースを持ち上げてはまず。



お手入れと付属品のはずしかた

お手入れ後の安全点検

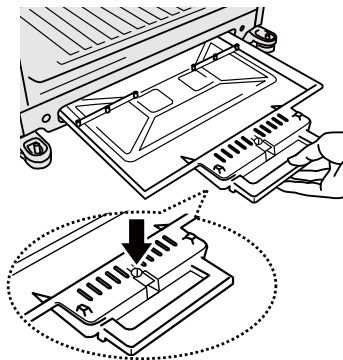
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
- 電源コードにきれつや、すり傷はありませんか？
- 電源プラグに異常な発熱がありませんか？
・・・電源コード・プラグの傷付きや、ほこりが溜まっていると、感電や火災の原因になります。もし、不審な点があれば、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときには

移動・運搬をするとき ～必ず電源プラグを抜いてください～

■ 移動・運搬する前に

- 1 庫内の食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し、扉を開け乾燥させる。
- 2 ストッパーを矢印の方向に押しながら蒸発皿を静かに引き抜いて、蒸発皿の水（霜取り水）を捨てる。
- 3 蒸発皿を元に戻す。



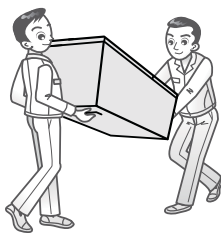
■ 移動・運搬のしかた

- 1 車輪を使い、前後に動かします。（傷付きやすい床の上では、移動車輪は使用しない）
- 2 運搬は、必ず底面のとっ手（手かけ部）と背面上部のとっ手（手かけ部）を持ってください。（手がすべって、けがの原因になります）

※ 蒸発皿に水が残っている場合、床面にこぼれることがありますので、保護シートなどを敷いてください。

- 3 転宅などで運搬するときは、横積みしない。故障の原因になります。

※ この冷蔵庫は 50 / 60Hz（ヘルツ）共用です。



⚠ 注意

圧縮機に手をふれない。熱くなるので、やけどの恐れがあります。

電源プラグを抜いて再び差し込むとき

5 分以上、間をおいてください。すぐに差し込むと、圧縮機に無理がかかり、故障の原因になります。

停電のとき

- 庫内温度が上がらないように、扉の開閉をひかえ、食品を新たに貯蔵しない。
- 停電するとドアアラームの停止は解除されます。停止したい場合は再度設定してください。

長期間使わないとき

食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し 2 ～ 3 日間扉を開け乾燥させる。

保冷枕など市販の寒剤を冷蔵庫に入れるとき

袋の破れに注意する。破れて硝安、尿素などの中身が漏れると、錆や故障の原因になります。

庫内灯について

- 冷蔵室扉を5分以上開放すると、庫内灯は自動的に消灯します。
- 庫内灯を交換するときは、お買い上げの販売店、または修理相談窓口へ、ご連絡ください。

ドアアラームを止めたいとき

- 1 冷蔵室の温度調節を「弱」にする。（5 ページ参照）
- 2 冷蔵室内右側面のドアスイッチ（6 ページ参照）のボタンを押す。押すと庫内灯が消灯します。
- 3 ボタンを押したまま、冷蔵室の温度調節を「弱」→「強」→「弱」とする。この操作は15秒以内に行う。
- 4 ピーとアラーム音が鳴ったら完了です。ドアスイッチのボタンから手を離し、冷蔵室の温度調節をお好みの位置にする。

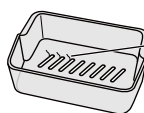
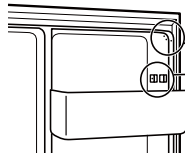
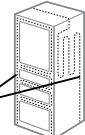
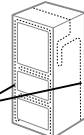
- 鳴らなかった場合は 1 からやり直してください。
- 再びドアアラームを鳴らしたい時は 1 の手順から繰り返す。ピッ、ピッ、ピッと 3 回アラームが鳴ったら完了です。
- 電源プラグを抜いて再び差し込むとドアアラームは鳴る状態になります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう1度確認してください。

状況	調べる 処置方法
全く冷えない	■電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 確実に差し込む。 ■ブレーカーや電源ヒューズが切れていませんか？ 扉を開け、庫内灯が点くか確認する。 ■停電ではありませんか？
冷えが弱い	■温度調節が「弱」のままではありませんか？ 「中～強」にする。 ■食品の詰め過ぎや熱いものが入っていませんか？ 熱いものは冷ましてから入れる。 ■ひんぱんに扉を開けたり、食品の袋などがはさまり 扉にすき間ができていませんか？ 扉を確実に閉める。 ■直射日光が当たったり、そばにコンロやガスレンジが ありますか？ 熱源から離して設置する。 ■周囲の風通しが悪くはありませんか？ すき間を開け、風通しをよくする。
冷蔵室・フレッシュ ルーム・野菜室の食 品が凍る	■温度調節が、「強」のままではありませんか？ 「中～弱」にする。 ■周囲の温度が5℃以下ではありませんか？ 「中～弱」にする。 ■水気の多い食品を棚の奥（冷気の吹出口付近） に入れていませんか？ 手前に入れる。
庫内のおいが気になる	■冷気の吹出口や吸込口がふさがっていませんか？ ふさがらない。 ■においの強い食品をラップしないで入れていませんか？ ラップする。

これは故障ではありません

状況	理由
プラスチック部品にスジがある、 扉内側に穴がある	■製造上の不良ではありません。  プラスチック成形時の樹脂材料の合流跡です。  断熱材を仕上げる時に必要な穴です。
冷蔵庫の外側や扉パッキング に露が付く	■梅雨など湿度の高いときに付くことがあります。 これは、冷水を入れたコップの外側に水滴が付くのと一緒です。 露は乾いた布でふき取ってください。
冷蔵庫の前面、側面が熱く 感じる	■夏場や運転の初めには特に熱く感じます。これは冷蔵庫への露付きを防止するパイプや放熱パイプが組み込まれているからです。 庫内食品には影響ありません。  放熱パイプ  放熱パイプ [AQR-36G/AQR-36GL] [AQR-27G]

次のような音は異常ではありません（音が大きい・変わった音がする）

庫内・側面付近から 「ビシッ・バシッ、パキパキ」 (バン、ポコン、カチカチ) ⇒ 庫内のプラスチック部品が膨張や収縮をして発生する音です。	背面・庫内付近から 「チョロチョロ、ポコポコ」 (キューキューツ、コンコン、コトコト) ⇒ 冷蔵庫を冷やすための冷媒(ガス)が冷却回路内を流れる音です。 運転停止中も発生することがあります。
下の方から 「ブーン、ビーン、ピチャ・ピチャ」 ⇒ 圧縮機の運転音です。	

※上のイラストは、AQR-36Gです。

■その他音が気になる時の確認と処置方法■

確認	処置方法
■床が弱く、ゆがんでいませんか？	冷蔵庫の下に丈夫な板を敷く。
■据え付けが悪く、ガタついていませんか？	3ページを参照し、調節脚で調節する。
■壁にふれていませんか？	本体を壁から離す。
■蒸発皿がはずれていませんか？	蒸発皿を確実に取り付ける。
■周囲に物が落ちて、ビビリ音を出していませんか？	取り除く。

以上のことを調べて、それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店または当社「お客さま相談窓口」（裏表紙）にご相談ください。

故障かな？と思ったら

仕様

種	類	冷凍冷蔵庫	
品	番	AQR-36G / AQR-36GL	AQR-27G
定 格	全		
内 容	積	355L	272L
容 積	冷 蔵 室	197L < 158L	178L < 143L
	フレッシュルーム	< 16L	< 16L
	冷凍室(上)(フォースター)	42L < 22L	冷凍室 (フォースター) 50L < 29L
	冷凍室(下)(フォースター)	47L < 27L	
	野 菜 室	69L < 47L	44L < 29L
外形寸法（ハンドル含まず）		幅 600mm × 奥行 662mm × 高さ 1729mm	幅 600mm × 奥行 657mm × 高さ 1419mm
定 格 電 圧 ・ 周 波 数		100V ・ 50 / 60Hz	
電 動 機 の 定 格 消 費 電 力		80 / 90W	70 / 75W
電 熱 装 置 の 定 格 消 費 電 力		130 / 130W	
消 費 電 力 量		冷蔵庫扉内側の品質表示ラベルに表示	
冷 凍 室 の 性 能		※***（フォースター）	
質 量		68kg	60kg

※定格内容積について

- ・ 定格内容積は、日本工業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品（棚やケース等）を外した状態で算出したものです。
- ・ （ ） は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示します。区分は日本工業規格（JIS C 9801-1：2015 および 9801-3：2015）に定められています。
- ・ < > 内は「食品収納スペース（貯蔵室毎の実際に食品を収納することが出来る空間の容積）の目安」です。食品収納スペースの目安は、日本工業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき、6ページ（冷蔵室）、7ページ（冷凍室）、8ページ（野菜室）のように部品を配置して算出しています。

※製品改良のため、仕様が変わることがあります。ご了承ください。

※本品は、日本国内家庭用の製品です。他用途には使用しないでください。
また、国外での使用はできません。（FOR USE IN JAPAN ONLY）

自動霜取り

- 霜取りの操作は不要です。
- 霜取り水は蒸発皿に溜めて、蒸発させます。
 - 霜取り時も食品を取り出す必要はありません。
 - 霜取りタイプ：可変式
霜取り間隔（周囲温度 32℃の場合）
AQR-36G / AQR-36GL：最長 30 時間／最短 10 時間
AQR-27G：最長 34 時間／最短 9 時間

付属品

		AQR-36G AQR-36GL	AQR-27G
冷蔵室	ガラストレイ	2	1
	ガラスじざい棚	1	1
	フレッシュルームケース	1	1
	マルチポケット（小）	1	—
	マルチポケット（大）	1	—
	フリーポケット	—	1
	ワイドマルチポケット	1	1
	卵皿&チューブスタンド	1	1
	ミニボトルポケット	1	1
	ボトル& ドレッシングポケット	1	1
冷凍室	冷凍ケース	上1/下1	1
	貯氷コーナー	1 ※	1
	製氷皿	1	1
野菜室	野菜ケース	1	1
	バスケット	1	1
	蒸発皿	1	1

※AQR-36G/AQR-36GL の貯氷コーナーは、冷凍ケースと一体になっています。

冷凍室（フリーザー）の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は、※***（フォースター）です。

冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C 9607：2015）に定められた方法で試験したときの、冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

- 冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、右の表の期間は一応の目安です。

記 号	※*** フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下
冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

保証とアフターサービス

使用中に異常が生じたときは、安全のため電源プラグを抜き
お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

知らせていただきたいこと

- ①故障の状況（できるだけ詳しく）
 - ②品番
 - ③製造番号
 - ④お買い上げ年月日
 - ⑤お名前・おところ・電話番号
 - ⑥訪問日
- 保証書に記入してあります。

アフターサービスでお困りの場合

- 修理のご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。また、転居や贈答品などでお困りの場合は、当社「お客さまご相談窓口」（裏表紙）にお問い合わせください。

保証書（別添付）

- この商品には保証書が付いています。
- 販売店が所定事項を記入してお渡ししますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- なお、食品の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間

- お買い上げ日から1年間です。
ただし、冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛细管・配管）冷気循環用ファン及びファンモーターは5年間です。

保証期間中の修理は

- 修理の際には、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従い販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎている時の修理は

- お買い上げの販売店にご相談ください。
修理をすれば使用できる場合は、お客さまのご希望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この冷蔵庫の補修用性能部品の製造打切後、9年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質^{【注1】}を含有しておりません^{【注2】}。
（JIS C 0950 の電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております）

【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロムビフェニル」および「ポリブロモジフェニルエーテル」の6種類の化学物質

【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。

<http://aqua-has.com/j-moss/>

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談、および部品の購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談

〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：（365日） 9：00～18：30

総合相談窓口

固定電話	 0120-880-292
携帯電話・PHS	 0570-040-292（有料）
FAX	 0570-013-790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：月曜日～金曜日 9：00～18：30

土曜・日曜・祝日 9：00～17：30

修理相談窓口

固定電話	 0120-778-292
携帯電話・PHS	 0570-030-292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただきますことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <http://aqua-has.com/privacy/>

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引渡すことが求められています。

愛情点検 長年ご使用の冷蔵庫の点検を！



このような症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げくさいにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
- ビリビリと電気を感ずる。
- その他の異常や故障がある。



使用を中止してください

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客さまメモ

購入年月日、購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

品番				購入店名			
購入年月日	年	月	日	TEL (	)	—	

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号